

気象研究コンソーシアムHPにおける、参加課題の成果論文リストの掲載

気象研究コンソーシアムHP 研究成果のページの下段に「研究成果一覧」を掲載
 (http://www.mri-jma.go.jp/Project/cons/result.html)

研究成果一覧

成果論文リストを報告いただいている課題については、下表の課題名にリンクを作成しています。

番号	課題名	責任者	所属機関	備考
1	対流圏-成層圏力学的上下結合のメカニズムと予測可能性	向川均	京都大学	
2	熱帯大気循環の研究	里村 雄彦	京都大学	H24年度終了
3	RAMSを用いた局地風の吹送メカニズムに関する研究	松山 洋	首都大学東京	
4	実用的な水循環リスクの推定に向けた全陸域水循環準リアルタイム推定	沖 大幹	東京大学	
5	雪氷災害およびその発生予測に関する降雪等気象現象の解析研究	中井 専人	防災科学技術研究所	
6	突風・豪雨災害をもたらす気象擾乱の事例解析	佐々浩司	高知大学	

コンソーシアムに参加している研究課題の一覧
 (終了課題を含む)

課題名をクリックすると成果論文リストPDFへリンク
 (PDFを提出している課題のみ、リンクを作成)

研究課題	(記入例)気象研究所中期研究計画		
担当者	(記入例)気象 太郎		
所属機関	(記入例)気象研究所		
研究概要	(記入例)気象研究所は、気象庁に求められる諸課題に対して的確な業務への実用的技術の提供を目指し、台風・集中豪雨等対策、地震・火山・津波対策及び気候変動・地球環境対策の強化に資する研究を実施する。		
発表論文	番号	論文名	リンク先URL(クリックすると当該論文の関連ページにリンクします。)
	1	気象太郎, 2011:気象研究所中期研究計画における研究成果1. 気象研究所研究報告, vol.62(2011).	https://www.istage.ist.go.jp/browse/mripapers/62/0/_contents
	2	気象太郎, 2012:気象研究所中期研究計画における研究成果2. 気象研究所研究報告, vol.63(2012).	https://www.istage.ist.go.jp/browse/mripapers/63/0/_contents

サンプル

PDFのURLをクリックすると、該当の論文のページへリンク

当該研究課題における成果論文の一覧のPDF
 (今後、追加等ある場合は、年度毎の成果報告(4月×)に合わせて、修正版PDFを提出する)

J-STAGE Home > Publications - Top

Papers in Meteorology and Geophysics Vol. 65(2014)

Validation of aerological observation simulation program and application to radiosonde observations in TOMACS p.1-14
 Naoko Seino, Tatsumi Nakano, Yoshiyuki Noto, Kyoji Oono
 Released: February 20, 2014
[Abstract](#) [Full Text PDF\[1426K\]](#)

Hydroclimate changes over Central America and the Caribbean in a global warming climate projected with 20-km and 60-km mesh MRI atmospheric general circulation models p.15-33
 T. Nakaegawa, A. Kitoh, S. Kusunoki, H. Murakami, O. Arakawa

Announcement From J-STAGE

サンプル